

平成28年11月1日 公告

(仮称)南港南中学校区小中一貫校整備機械設備工事
設計図書の一部に表記誤りがありました。下記正誤表をご確認下さい。

正誤表

訂正箇所	誤	正
図面(43ページ)他工事との取合い表の一部修正	二次側電源工事、電磁弁までの配線、BOX、電極保持器までの配線、BOX、電極保持器、電極棒、水位制御回路の誤植	(別紙図面参照)
図面(153ページ)管種表記の一部修正	〇〇PP	〇〇PE (別紙図面参照)

屋上プール水ろ過設備工事特記仕様書

I 一般事項	1 本工事は、プール設置に伴うろ過装置を設置するもので、新設ろ過配管より取出してろ過装置に導き、ろ過及び消毒を行ったのち、再びろ過配管に接続してプールに送水する。又、試運転調整にいたる一切の工事を施工する。																																																							
II ろ過装置	1 本ろ過装置は珪藻土ろ材によるろ過方式とし、本体はストレーナー、スラリータンク、ヘアキャッチャー、循環ポンプ及び電動機、操作弁並びにろ過器等により構成する。又、ろ過性能が良好であり、運転操作が容易で、騒音振動の少ない構造とする。 2 仕様及び性能は下表による。 3 ろ過装置の据付は、別途建築工事コンクリート基礎に強固に取付ける。																																																							
III 試運転調整	1 装置据付完了後、監督職員立ち会いのもとに試運転調整を行う。																																																							
IV 特記事項	1 浄水機械室内露出配管は、保温工事不要とし、塗装工事施工の事。 2 別途ステンレスフランジへの接続は、絶縁材（プールメーカー支給品）を使用する。 3 弁室の保温仕様は、標準仕様書 第2編3・1・5、区分給水管、施工箇所-床下、暗渠内（ピット内を含む）を適用する。 4 プールサイド下配管ピット内の露出給水管（水ろ過配管、バランス管を含む）の保温は、不要とする。 5 プール排水管は、GVまで保温工事を施工する。 6 プールサイド下は 4階平面図（プール部分）の⑩～⑲ 通り迄とする。 7 浄水機械室内のバタフライ弁は、レバー式 JIS 10K とする。 8 採水管用仕切弁は鑄鉄製 JIS 5K とし、ナイロンライニングを施したものとする。																																																							
V 工事区分	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>種 別</th> <th>建 築</th> <th>本 工 事</th> <th>電 気</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ろ過装置への電気配線配管及び結線</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ろ過装置の試運転調整</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>レベルタンクの電極棒（取付共）</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>レベルタンクの電極座</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ろ過装置のコンクリート基礎</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>プール水ろ過吐出口（16ヶ所）の水量調整</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>天井・壁・床の点検口</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>天井開口及び補強</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>雨水排水</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>パイプシャフトの点検口及び扉</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	種 別	建 築	本 工 事	電 気	1	ろ過装置への電気配線配管及び結線			●	2	ろ過装置の試運転調整		●		3	レベルタンクの電極棒（取付共）			●	4	レベルタンクの電極座		●		5	ろ過装置のコンクリート基礎	●			6	プール水ろ過吐出口（16ヶ所）の水量調整		●		7	天井・壁・床の点検口	●			8	天井開口及び補強	●			9	雨水排水	●			10	パイプシャフトの点検口及び扉	●		
番号	種 別	建 築	本 工 事	電 気																																																				
1	ろ過装置への電気配線配管及び結線			●																																																				
2	ろ過装置の試運転調整		●																																																					
3	レベルタンクの電極棒（取付共）			●																																																				
4	レベルタンクの電極座		●																																																					
5	ろ過装置のコンクリート基礎	●																																																						
6	プール水ろ過吐出口（16ヶ所）の水量調整		●																																																					
7	天井・壁・床の点検口	●																																																						
8	天井開口及び補強	●																																																						
9	雨水排水	●																																																						
10	パイプシャフトの点検口及び扉	●																																																						
VI 追加機器材指定メーカー	1 レベルタンク 株式会社 多久製作所又は同相当品以上 2 電動ボール弁（ステンレス鋼製） 株式会社 キッツ EXH-200-10UTB(M)-80mm (200V用) 東洋バルブ株式会社 S10-UBF-MX(H)-80mm (200V用) 又は上記同相当品以上																																																							
VII その他	1 プール水ろ過配管は、標準仕様書の給水配管の項を適用する。 2 塩ビライニング鋼管、外面被膜鋼管の呼び径100以上の配管はねじ接合又はフランジ接合とする。 3 追記図示記号 <table border="1"> <thead> <tr> <th>図 示 記 号</th> <th>名 称</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>— WFS —</td> <td>水ろ過配管（送り管）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>— WFR —</td> <td>”（返り管）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>— B —</td> <td>バランス管（水位調整用連通管）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	図 示 記 号	名 称	備 考	— WFS —	水ろ過配管（送り管）		— WFR —	”（返り管）		— B —	バランス管（水位調整用連通管）																																												
図 示 記 号	名 称	備 考																																																						
— WFS —	水ろ過配管（送り管）																																																							
— WFR —	”（返り管）																																																							
— B —	バランス管（水位調整用連通管）																																																							

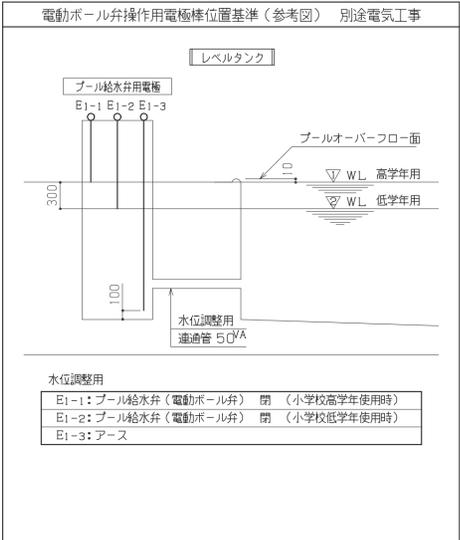
機器リスト

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	台 数	備 考
① ②	レ ベ ル タ ン ク	SGP短管加工 150 ^Φ ×1000 ^L	1	鋼製ブラケットにて固定のこと
		内外面ナイロンコーティング 膜厚 250 ^μ m以上 電極取付座、その他ソケット付		
WF ③	ろ 過 装 置	ろ過能力 75 m ³ /h 珪藻土ろ過方式	1	(小学校の場合)
		ろ過器主要構成機材は合成樹脂性又はこれに準ずる耐食性を有するもの。 <ストレーナー・スラリータンク・ヘアキャッチャー及び配管> 鋼製 内外面溶融亜鉛メッキ (バスケットはSUS304製) <循環ポンプ> 横型うず巻ポンプ 5.5 kW (電源 3 ^Φ 200V) (スプリング式防振装置及びゴム製防振継手付) 羽根車 - 青銅製 主 軸 - SUS304製 <薬注装置> 次亜塩素酸溶液ポンプ注入方式 薬液槽 - 本体ビニル板製 容量 100L以上 注入ポンプ - 18 W (電源 1 ^Φ -200V) 溶液部耐食性 流量調整装置付		

他工事との取合い

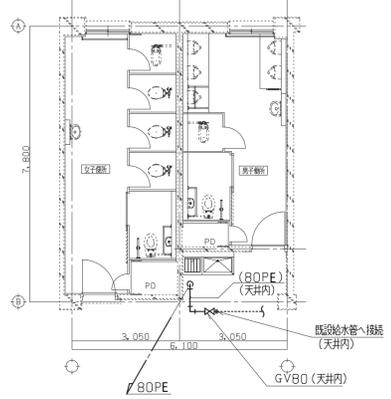
工 事 内 容	本工事	電気工事
プール水道直結加圧型ポンプへの電源供給（1次側）	—	●
プール水道直結加圧型ポンプからの外部信号端子（無電圧）、満水、湯水	●	—
プール水道直結加圧型ポンプから管理作業員監視盤迄の配管配線	—	●
プール水道直結加圧型ポンプの接地工事	—	●

(注) ●印がついたものを適用する。

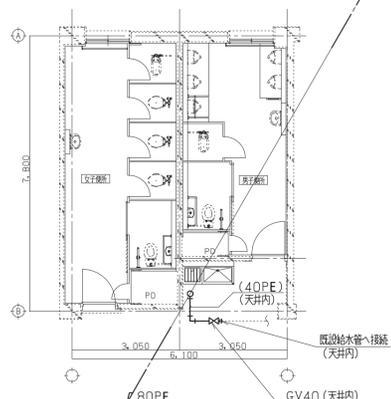


その2 工事

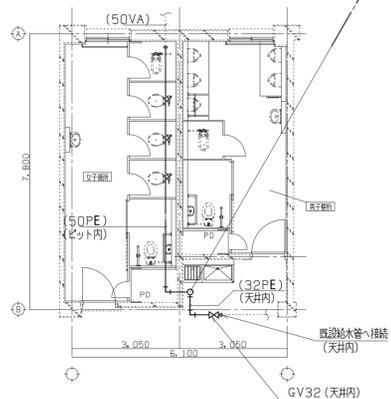
工事名称	(仮称) 南港南中学校区小中一貫校整備機械設備工事	平成27年度
図面名称	屋上プール 水ろ過設備工事共通特記仕様書	図面サイズ: A1
縮 尺	—	No. 43 (157枚の内)
大阪市都市整備局公共建設部 企画設計課 設備グループ	設計者 株式会社 施設工学研究所	



4階平面図 (仮設給水管) 1:100

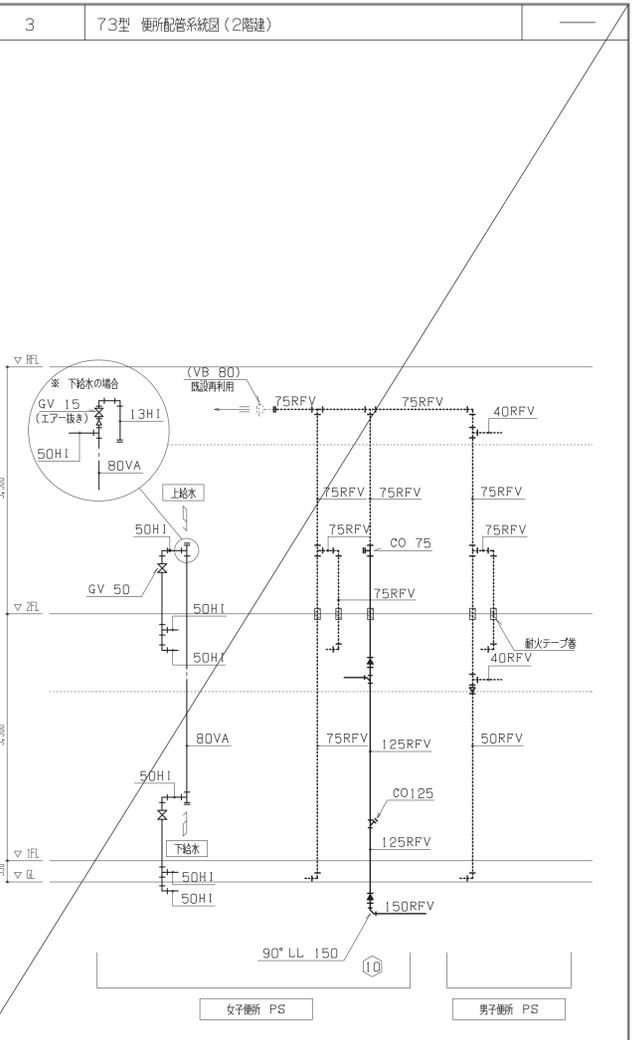
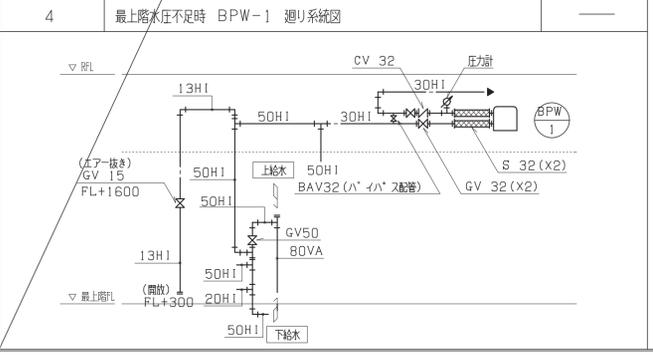
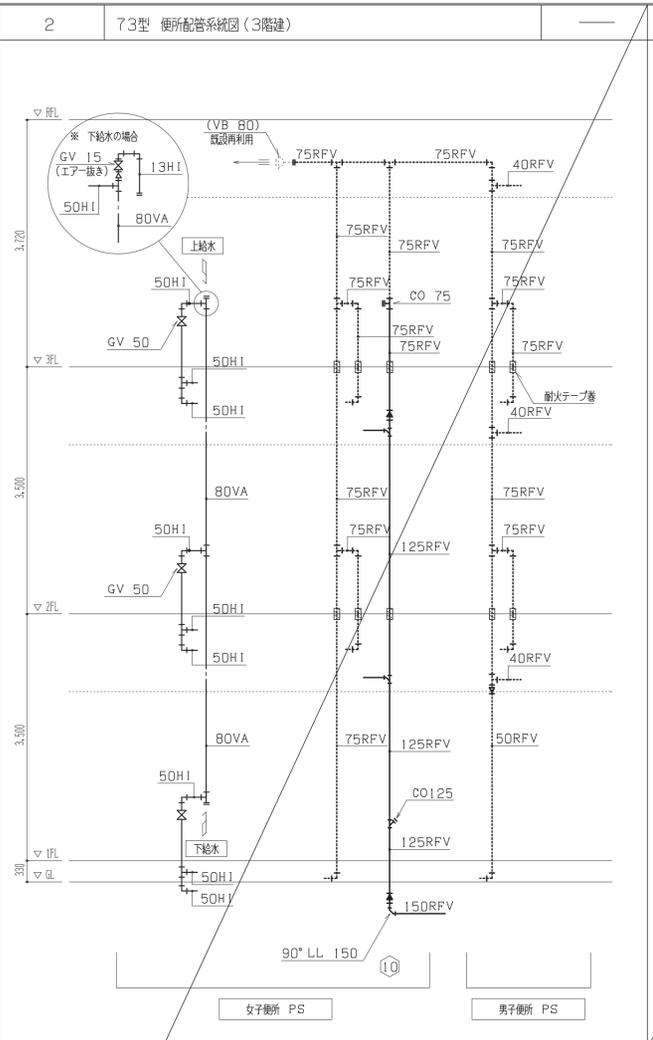
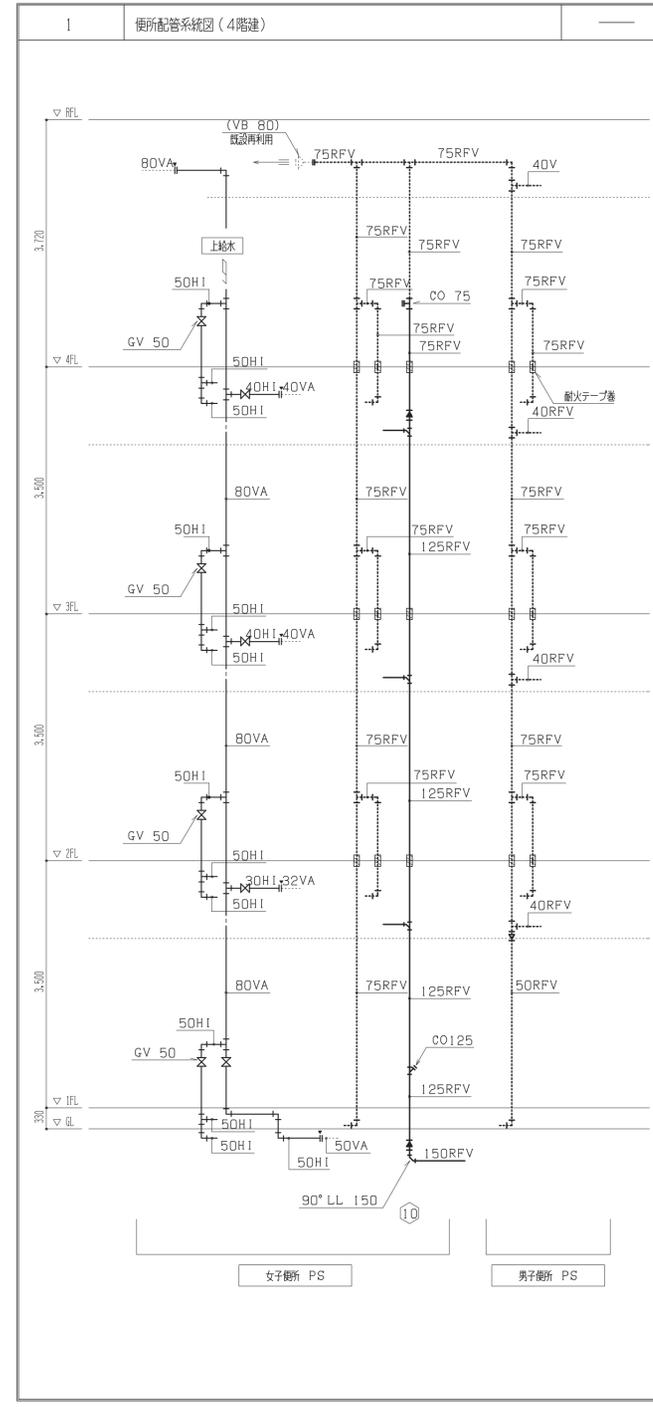


2~3階平面図 (仮設給水管) 1:100



1階平面図 (仮設給水管) 1:100

特記事項
1) 仮設給水管貫通頭は木工事。(各層 125φ×1)



- 特記事項
- 内は、別紙詳細図番号を示す。
 - 表示は、区画界の空気抜き管は、保温塗膜を要する。
 - エア抜き管の空気抜き管は、保温塗膜を要する。
 - 弁類は10Kとする。
 - PS内の仕切弁は接合ユニットにて取替すること。
- ※バルブ用ソケット (金属ねじ付を含む) は使用不可とする。

その1工事	
工事名称	(仮称) 南港南中学校区小中一貫校整備機械設備工事 平成27年度
図面名称	改修 既設校舎 便所 平面図 (仮設給水管)・配管系統図 図面サイズ:A1
縮尺	1:100 図面番号 No. 153 (157枚の内)
大阪府都市整備局公共建築部 企画設計課 設備グループ	株式会社 施設工学研究所